

やっ報

2015年 7月15日 No110

発行 松本あきお後援会

TEL (0847-82-2149)

<http://www.kagayakinet.ne.jp/~matumoto-313>

Eメール matumoto-313@sky.kagayakinet.ne.jp



森林セラピーを楽しむ人々（スコラ高原）

神石高原町立病院

平成31年度を目途に移転新築の方向

事業基本計画策定委員会の方針

町立病院の第2期事業基本計画（平成27年～31年）が策定されました。

この計画書は、町と指定管理者・陽正会が協議して策定されたものです。

病棟の新築・移転については平成25年度に実施した耐震調査の結果、旧棟（西館）は、耐震不足で、補強工事が必要となりました。策定委員会で、将来の町

立病院の在り方と適正規模について協議した結果、補強工事の際に発生する騒音や振動等患者への影響や病棟機能が損なわれる事などから補強工事を断念。東館についても、増改築後の医療の安全確保が難しい事や、耐用年数、費用対効果等を考えた結果、平成31年を目途に病院の移転新築の方向性を確認しています。

また、病院の新築は、今後の政策医療の方向性や病棟の考え方を精査し、病床数の変更も町と指定管理者で充分協議して、病院経営の再構築の契機となるよう検討します。

安田・李トマト団地は、県知事の同意が得られず事実上断念することになりました。

安田・李トマト団地計画を断念 今後は遊休農地を活用して農地造成

安田・李トマト団地計画を断念



当初予定していたハウス面積も10畝から15畝に拡大して、県営事業の認可に向けて取り組んでいました。昨年12月に、県知事から、★483畝もの荒廃農地があるのに、新たな農地を開発する必要があるのか。★個人経営への補助金はおかしい。融資で行うのが本来の考え方ではないのか。★李トマトについては、計画を断念せざるを得ない状況になりました。

仙養ヶ原が生まれ変わります 仙養ヶ原ティアガルテンが、7月4日にグラウンドオーブンしました。 神石高原町の新しい観光スポットとして多くの皆さんが来場される事を願っています。 ティアガルテンとは、ドイツ語で生命を体感し、いっしょくむ場所という意味です。 つくり交付金事業」で農家を助成しています。 今回、安田・李トマト団地事業もこの補助金でハウスの新築等行う予定でした。 この事業は国が、55%、県が15%補助しますが、県の同意がないと国の補助金も受けられません。 いくら荒廃地が多いと言っても、荒廃地に農地造成は難しいし、個人への補助金は、おかしいと言われても国に補助制度があり、他の県では受けているのに、なぜ受けられないのか。 県の東部農林水産事務所等町と協力して、推進してきたのがなぜ認められないのか、疑問が残ります。

あなたに代わって おたずねしました。 松本議員の一般質問



やったあ 6段ピラミッド。神石高原中学校運動会

◎新教育長の抱負と決意は

◎ 制度は変わっても姿勢は変わらない

松本 新教育長制度に変わり、初めて教育長に就任され、方針は、3月議会で述べられたが、2カ月経過した中で、改めて本町の教育行政に取り組み姿勢と決意を伺う。
教育長 制度は変わっても、姿勢と決意は変わらない。特に「何を知っているか」を重視した取り組みに加え、「知識を活用し協働して新たな価値を生み出せるか」を重視した資質・能力の育成を目指した主体的な学びを促す教育の推進に取り組みたい。

松本 新制度では、教育長は町長の任命制となったが、予算・事業・人事などについて、町長との関係は、**教育長** 予算については、今までも町長と相談しているが、予算の編成や執行権は町長の権限である。事業については、協議・調整し、調整がついたものは尊重する。教職員の人事については町長の権限外で

あり、協議の対象にならない。町職員の人事については協議することもある。

松本 新制度に代わり心配されるのは、教育委員会の主体性中立性の維持であるが、その点。

教育長 政治的中立性・継続性・安定性の確保として、教育委員会は、引き続き協議の執行機関としている。

松本 学校現場は、異常な長時間労働が慢性的に行われている。この原因と解決策は。
教育長 4月の教諭の時間外労働は、平均62時間である。この状況を改善するため、各学校において、業務改善に取り組み、子ども向きな時間の確保に努めているが、充たでない。

松本 時間外労働は、過労死に認定される80時間を超える人がかなりのいると聞く。学校によれば、80時間を超えそうになると退校したように記録して、残業したり、休日には、入校記録をつけな



若さあふれる入場行進・神石高原中学校

いようにして仕事をしているのではないか。

入退校記録が正確かどうかは、警備システムと照合すればわかると思う。入退校記録を正確につけるよう校長を指導すべきでは。

教育長 正しく記入するよう指導する。

松本 県教委への報告などの事務量が多いのではないか。

教育長 業務改善については、今年度、神石高原中学校が県から業務改善モデル校の指定を受け、教務事務支援員が配置され、成果が出ている。

松本 各学校に、労働衛生委員会が設置されているが、教職員の健康管理についての

に役に立っているのか。

教育長 毎月1回教頭を中心に関内衛生委員会を開催し、教職員の健康管理に努めている。本町の教頭会研修で他校の取り組みを参考にするため各校の衛生委員会の内容について交流会も行った。

松本 衛生委員会の活動の実態は殆ど機能していないのではないかと。衛生委員会が開催されても、その報告が職場に知らされていない。

衛生委員会のメンバーが集まって、話をしても職場に報告し、協議しないと健康管理にならぬ。少なくとも衛生委員会の内容を職場に報告するよう各校長を指導すべきでは。

教育長 衛生委員会がその機能を活かすように指導する。

松本 円滑な学校運営や、教育を充実させるためには、現場の声や教職員の意見を聞く事が重要であるが、教職員団体との対話は。

教育長 学校訪問を行い、現場の声をきいている。

職員団体との話し合いも、申し入れがあれば行っている。

学校給食のあり方は

松本Ⅱ 学校給食の位置付けをどのように考えているか。

教育長Ⅱ 学校給食は、心身ともに成長発達の上にある児童生徒にとって栄養バランスのとれた食事を摂り、合理的に栄養を摂取することは、健康な生活を送る上でも基本となるものである。

松本Ⅱ 学校給食法の中に、自治体の責務、学校給食の目標などが定められている。旧法では、国民の食生活への寄与とあったが、これは削除され新たに「食に対する正しい理解と適切な判断力を養つ」という点が盛り込まれ、食育を重視する観点からその推進も盛り込まれ、学校給食は食育



観光大使・福本ヒデさんと(森林セラピー)

を重視する観点から、その推進も盛り込まれ、重要な位置づけがなされている。

本町でも、食育を推進しているが、教育長の見解は、

教育長Ⅱ 友人と和やかに食事することは、豊かな心や望ましい人間関係を育成するうえからも大切な役割を果たすものと考えている。

松本Ⅱ 現在町職員の調理師は3名で、来年1名退職する。

今後の補充や学校給食の在り方についてはどう考えているのか。

町が直営で行っている給食施設が3カ所あり、3人の町職員がいる。食中毒などの事故を防ぎ、安全な給食を提供するためにも、最低でも1施設に1人の職員を配置するよう現状を維持すべきだ。

教育長Ⅱ 来年1名の退職が明確になっている以上、安全な給食を提供するためには、次年度の方向性を早急に決定しなければならぬ。

今後関係する部署と調整を図りながら進めていきたい。

教科書の選定は

松本Ⅱ 本年は、教科書の選定が行われる年だが、選定に当

たつては、教科書選定委員会の結果を尊重するのか。

教育長Ⅱ 教科書選定委員会の結果を尊重しながら決定したい。

生涯学習課の対応は

松本Ⅱ 社会教育の充実については、3点の方針が示されているが、課長以下3人のスタッフで対応できるのか。

生涯学習課は、施設の維持管理だけでなくかなりの仕事量がある。特に今後必要とされる生涯学習、社会教育に充分対応できるのか。

教育長Ⅱ 本年度より、生涯学習課が本庁に設置された。現状の職員で施設の維持管理を含め、誰もがいつでもどこでも生涯学習し続ける喜びを実感できる事を目指し、関係機関関係団体と協議しながら進めている。

松本Ⅱ 施設の維持管理については、町当局とも協議し専門の担当課、営繕課(係)を設置して取り組んでほしいか。

教育長Ⅱ 関係部局と協議したい。

⑤ やすらぎ苑の改修と運営は

⑤ 近い将来大規模な改修を

松本Ⅱ やすらぎ苑では、殆どの人が火葬と併せて葬儀も行われている。利用者も高齢者の人が多く、和室を利用する時、正坐が難しい人もいる。

和室の座卓を、テーブル・椅子に変えたらどうか。

町長Ⅱ 基本的には、やすらぎ苑は火葬が主な目的の施設で葬祭が主体ではない。

和室で座卓に座るのが難しい人には、少し高めの椅子を準備している。

また、全て椅子が良い人は、ロビー窓際の机と椅子を利用してもらっている。

松本Ⅱ 1人暮らし等が増え、病院や施設で亡くなられた家に帰らず、直接やすらぎ苑に行かれる人も増えると思う。その場合、家族や、親族の休む部屋がない。

告別室を1室和室に改造してはどうか。

町長Ⅱ 死亡者が実家に帰れなくなることは、今後増加すると思われるので、告別室を利用して、通夜から湯棺まで

利用してもらえらるよう、1室に畳を敷くようにする。但し湯棺は遺族でやってもらうことになる。

松本Ⅱ 今後、家族葬など葬式も多様化していく。

家族葬などの対応や、料金設定など改定すべきでは。

環境衛生課長Ⅱ 告別室は2室あるので、1室は全面に畳を敷き、もう1室は椅子を30脚置いて、家族葬や火葬のみの方が待合室として利用できるよう準備を進めている。

近い将来、大規模な改修が必要なので併せて検討する。



旧油木中学校グラウンド芝生植え

町議会議員定数等調査特別委員会を設置

本年12月議会で結論を

神石高原町議会が、6月議会の最終日に、議員発議（提案者・松本議員、賛成者・橋本議員）で、「神石高原町議会議員定数等調査特別委員会設置に関する決議を提案し、全会一致で可決しました。

委員会の構成は、全議員で、委員長に松本議員、副委員長に橋本議員を選任しました。

目的は、議員定数を見直し、町民の負託に応えられ、町民に信頼される議会となるため、議会議員の定数等を調査・検討し、議員定数を決定するものです。

神石高原町議会ではすでに昨年からの研究会を立ち上げ検討していますが、今議会で特別委員会を設置。議員定数・報酬などを審議して、本年12月議会では結論を出す方向で取り組めます。

地方分権時代を迎え、議員の果たす役割は益々大きくなり、住民からの議会・行政に対する要望も多様化し、議員活動も複雑になり多忙化して

います。

合併以来人口の減少が進み、職員定数の削減、交付税の減額など、環境は、益々厳しくなっています。

このよつな社会情勢の変化に対応した、適正な議員定数・報酬を決定するものです。

昨年、アンケート調査を行いました。回答者数は、58人と低調でした。広く皆さんの意見を聞きながら決定したいと思っています。



町営小島住宅完成予想図

町営小島住宅・建て替え事業

27年度～28年度で10戸を新築

町内で一番古い、小島町営住宅（昭和50年建築）が、平成27年度～28年度の2カ年で建て替えられます。

この住宅は現在12戸ありますが、間取りなど改善し、10戸に新築します。27年度は、3DKを2戸と2DKを2戸。28年度は、3DK3戸。2DKを2戸、身障者用2DK1戸を新築します。

設計は公募型プロポーザル方式により、広島市の土井一秀建築設計事務所が行いました。

施工業者は、宮脇建設株式会社。1億8,943万2千円で落札しました。工期は、平成29年1月31日完了です。

同じ団地の町営住宅で、2DKと3DKが各2タイプずつあり、障害者用住宅も1棟あるなど、ひとつの団地にタイプの違う住宅が建設されるのは初めてです。

地方財政の充実・強化を求める意見書を

提出し採択・国へ送付

提案者 松本議員 賛成者 橋本議員

地方自治体は、子育て・医療・介護・地域交通の確保等その果たす役割は益々大きくなっています。その上、人口減少対策を急ぐ地方版総合戦略の策定等新たな課題も増えています。

に当たっては国民の生活を犠牲にするのではなく、社会保障予算の充実、地方財政の確立を求めるとともに、国に対して意見書を提出するよう提案。全会一致で可決し、意見書を内閣総理大臣他関係大臣に提出します。

こうした中で、平成28年度の政府予算、地方財政の検討

走って来ました。

スイカ・長芋健康マラソン 鳥取県北栄町



マラソン初参加の内藤 栄さんと

6月21日に鳥取県北栄町で開かれた、「スイカ・長芋健康マラソン」に、10才男子40歳以上の部に出場しました。初めての大会でしたが、暑い中どこにか完走できました。油木地区から3人参加しています。

タイム 55分47秒
男子40歳以上の部
1560人中 517位
でした。